

身近な福祉

くし形小学校

四年

渡辺 わたなべ

悠陽 ゆうやう

あたしは三年生のときに学校のじ業で

もうどう犬について調べました。もつと目の

ふ自由な人について知りたいたいと思つて、この

作文を書きました。

目がふ自由なことをしがくしうがいと言

います。目が見えなくなる原いんは、事こ、

病気、生まれつきの病気などいろいろありま

す。生まれたときから見えない人もいれば、

だんだんと見えなくなる人もいます。このこ

とを知つて、今はなんともなくても、自分も

これから目が見えなくなるかもしれないこと

に気づきました。だれでも目が見えなくなる

かもしれないのです。もし自分だたらと考

えると少しふ安になりました。

しがくしうがいがある人は、ふだんの生

活でこまてしまうことがあります。たとえ

ば、レトルト食品のカレーとミートソースで

は、どちらがカレーなのかが分かりません。そ

こで、よう器などに中身をいれした点字ラベ
 ルをはるなどの工ふうをします。しかくし
 うがいのある人は、点字が白じょうとい
 えを使ったり、もうどう犬の手をかりたり
 て、生活をします。しかし、もうどう犬は数
 が少ないし、点字の本はねだんが高いです。
 まだまだ不便なことやきけんなことは多
 だ、もつと便利だたらいいなと思いました。
 もし自分だたら学校に行くだけでも大
 変で、目のふ自由な入の立場になて考
 えること
 とが大切だと思いました。
 しかくし、うがいは、だれでもなるか
 う
 せいがあります。し、うがいのある人の
 問題
 は、げして人ごとではありません。こ
 ま
 ている人がいたら助けたり、相手の気持
 ちを
 考えることが大切だと思いました。し、う
 が
 いのある人のことを助けることは、友
 だちや
 家族を助けるのにていると思
 いま
 した。あ
 たしは、思いやりをもてま
 っ
 てい
 る人
 を
 助
 け
 ら
 れ
 る
 よ
 う
 に
 な
 り
 た
 い
 で
 す。